

公益社団法人日本中国友好協会  
2015年度(平成27年度)事業報告  
平成27年4月～平成28年3月

## 1. はじめに

- (1) 戦後70年を迎え、協会は6月の定時総会において“戦後70年アピール”「日中友好の精神を若い世代へつなごう」を採択した。
- (2) 6月18日に開催した第6回定時総会・第19回臨時理事会において加藤紘一会長の辞任にともない丹羽宇一郎前中国大使を新会長に選任した。
- (3) 協会は創立65周年を迎え、6月18日の定時総会後に協会創立祝賀会を開いた。祝賀会は、当日の定時総会において丹羽宇一郎会長のあいさつと程永華中国大使並びに中根一幸外務政務官の祝辞をたまわり、日中関係のさらなる発展を願い交流を深めた。

## 2. 南京城壁保存修復協力事業20周年記念行事

5月15日午前、中国・南京において南京城壁保存修復協力事業20周年記念式典を開催した。式典には、日本から(公社)日中友好協会代表団(団長・酒井哲夫副会長)、日中友好大学生訪中団、平山美知子氏(故平山郁夫協会会長夫人)ら家族をはじめ11団220名余りが参加した。中国から林怡中国人民对外友好協会副会長、王秀雲中日友好協会副会長、呉錫軍江蘇省人民对外友好協会会長、儲永宏南京市副市长ら要人多数が参加した。式典では、酒井哲夫副会長、林怡副会長及び呉錫軍会長が挨拶した後、日本側、浅井まなさんと範東洋彦さん、中国側、司夢潔さんと顧秋霞さんの日中双方の学生が平和を誓うスピーチを行なった。

同日午後には、協会代表団をはじめ日本側の参加者は南京大虐殺記念館を訪れ、献花と犠牲者に黙とうを捧げた。

同日夜は、記念レセプションが開かれ、呉錫軍会長、王秀雲副会長及び小野寺喜一郎常務理事(日中友好学生代表団団長)が挨拶した。乾杯後、日中双方の参加者が和やかに歓談し、歌や踊りの多彩なパフォーマンスが繰り広げられ会場を盛り上げた。

なお、協会代表団は南京の他、徐州市及び北京を訪問した。

## 3. (公社)日中友好協会代表団

7月19日～21日まで、丹羽宇一郎会長を団長とする(公社)日中友好協会代表団(一行9名)は中日友好協会の招きで訪中した。

滞在中、唐家璇中日友好協会会長と会見し、日中間の民間交流拡大に向け、一層連携を密にすることを確認した。また、中華全国婦女連合会(孟曉駟副主席)、北京市人民对外友好協会(田雁常務副会長)、外交部(劉建超部長助理)、文化部(丁偉副部長)、中華全国青年連合会(周長奎副主席)の5の団体・機関を表敬訪問し、意見交換を行った。また、木寺昌人中国大使を表敬訪問し、在北京日本メディア及び中国日本商会と懇談をした。

なお、今回の訪問は、丹羽宇一郎会長の就任後、最初の訪問である。

## 4. 協会の組織運営

- (1) 今年度は、定時総会1回、理事会5回(定例理事会3回、臨時理事会2回)及び業務執行理事会9回開催した。

第 6 回定時総会（6 月 18 日開催）は 2014 年度事業報告と収支決算報告を承認し、さらに定款の一部改正と一部の規則改正を承認した。なお、4 名の理事の辞任にともないの理事 4 名を選任した。

第 21 回定例理事会（1 月 20 日開催）は 2016 年事業計画と収支予算を承認した。

(2) 2015 年度末現在、42 の都道府県日中友好協会（以下県協会と略す）が入会している。未入会は群馬県、宮崎県の 2 県。未組織は島根県、長崎県、沖縄県の 3 県である。

(3) 全国女性委員会は、6 月 13 日、東京において第 19 回全国女性委員会総会を開催した。2 年間のまとめと今後の方針を決めた。また、石黒かほる氏（秋田県日中友好協会）を新委員長に選出し、副委員長 7 名を選出した。

(4) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、茨城県、千葉県、神奈川県、長野県、京都府、大阪府、岡山県（9 県協会）

女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、熊本県、大分県（19 県協会）

(5) 全国都道府県日中友好協会実務者会議を次のとおり東西 2 か所で開催した。

東会場：11 月 15 日～16 日、新潟市において開催した。北海道・東北、関東・甲信越の各地域の 10 県協会の実務担当者が出席した。夜の懇親会には、何平新潟総領事が出席された。

西会場：11 月 29 日～30 日、岡山市において開催した。東海・北陸、関西、中国・四国及び九州の各地域の 17 県協会の実務担当者が出席した。

(6) 日中友好秋季セミナー

協会は、中国大使館の協力を得て、9 月 26 日～27 日、長野県松本市において第 2 回日中友好秋季セミナーを開催した。セミナーは、程永華中国大使の講演で始まり、交流会と懇親会を通して、日中友好の歴史と今後の事業・活動について意見交換を行った。中国大使館から 33 名と各県協会から 57 名（協会役員を含む）が参加した。

懇親会には、阿部守一長野県知事及び坪田明男松本副市長らが出席された。

## 5. 講演会等

(1) 講演会

8 月 8 日 橋本逸男副会長が宮城県日中友好協会 2015 年度定期総会記念講演会で講演。

3 月 17 日 岡崎温理事長が日中青年友好の歴史を語る旅～2016（日中双方の大学生）で講演。

(2) 写真展

①中国の今昔写真展

11 月 14 日～15 日 主催：日立市日中友好協会 於：日立シビックセンター

②周恩来と日本写真展と

3 月 5 日～10 日 主催：厚木市日中友好協会 於：アミュー厚木

## 6. 青少年交流

(1) 第 6 回宋慶齡国際青少年交流キャンプ

7 月 22 日～29 日まで、中国宋慶齡基金会在主催の「第 6 回宋慶齡国際青少年交流キャンプ」に日本の高校生 9 名と協会職員 1 名を派遣した。世界 22 カ国から約 360 名の参加者が英語を共通

語として交流。北京での交流の後、内モンゴルを訪問。

(2) 日中友好大学生訪中団

① 2015 日中友好大学生訪中団 第1陣

時期 5月14日～20日、訪問都市 南京、蘇州、上海、北京

人数 98名(内大学生91名・団役員事務局7名)

大学生の内訳 性別(男53名、女38名)、

学年別(1年生3名、2年生22名、3年生36名、4年生以上30名)

※南京(南京大学、東南大学)、蘇州(蘇州大学)、歓迎会及び歓送会において中国の大学生と交流。南京城壁保存修復協力事業20周年記念式典及び記念レセプションに参加。

② 2015 日中友好大学生訪中団 第2陣

時期 10月16日～22日、訪問都市 北京、西安、上海

人数 108名(内大学生98名・団役員事務局10名)

大学生の内訳 性別(男31名、女67名)、

学年別(1年生28名、2年生29名、3年生22名、4年生以上19名)

※西安(西安外国語大学と西安培華学院)、歓迎会及び歓送会において中国の大学生と交流。

③ 2015 日中友好大学生訪中団 第3陣

時期 12月2日～8日、訪問都市 北京、杭州、上海

人数 106名(内大学生98名・団役員事務局8名)

大学生の内訳 性別(男33名、女65名)、

学年別(1年生28名、2年生28名、3年生24名、4年生以上18名)

※杭州(浙江工商大学と杭州師範大学)、歓迎会及び歓送会において中国の大学生と交流。

④ 2016 日中友好大学生訪中団 第1陣

時期 3月24日～30日、訪問都市 北京、武漢、上海

人数 107名(内大学生99名・団役員事務局8名)

大学生の内訳 性別(男41名、女58名)、

学年別(1年生29名、2年生45名、3年生25名)

※北京(国際関係学院)、武漢(湖北大学)、歓迎会及び歓送会において中国の大学生と交流。

7. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

5月14日～18日	(公社)日中友好協会代表団(団長・酒井哲夫副会長)	6名
5月14日～19日	南京城壁保存修復協力事業20周年記念訪中団 (団長・森秀男茨城県日中友好協会会長代行)	6名
5月14日～20日	2015日中友好大学生訪中団第1陣 (団長・小野寺喜一郎常務理事)	98名
7月19日～21日	(公社)日中友好協会代表団(団長・丹羽宇一郎会長)	9名
7月22日～29日	第6回宋慶齡国際青少年交流キャンプへ参加訪中	10名
10月11日～15日	(公社)日中友好協会活動家訪中団(団長・大藪二郎常務理事)	9名
10月16日～22日	2015日中友好大学生訪中団第2陣 (団長・小野寺喜一郎常務理事)	108名
11月2日～6日	(公社)日中友好協会全国女性委員会代表団	

	(団長・石黒かほる全国女性委員長)	20名
1月2日～8日	2015日中友好大学生訪中団第3陣	
	(団長・宇都宮徳一郎副会長)	106名
3月7日～11日	第33回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会優勝者	3名
3月24日～30日	2016日中友好大学生訪中団第1陣(団長・揚原安麿理事)	107名
	<u>以上 11団</u>	<u>482名</u>

(2) 訪日団等の受入

該当する事業なし

(3) 中国の関係機関との交流

- 4月10日 第8回日中議会交流委員会全人代代表団との夕食懇談
- 6月23日 羅玉彬四川省人民体外友好協会会長一行が来訪
- 7月14日 2015年北京市青少年キャラバン訪日団歓迎会
- 7月23日 北京市人民対外友好協会呂錫文会長、田雁常務副会長一行歓迎夕食会
- 10月6日 何香凝美術館日本考察団来訪
- 10月25日 中国宋慶齡基金会訪日団一行6名来訪
- 10月27日 青木陽子天津市視覚障害者日本語訓練学校理事長一行が来訪
- 11月25日 チベット自治区代表団(団長・羅松多吉 チベット自治区政治協商会議副主席)一行6名が丹羽宇一郎会長を表敬
- 11月24日 余熙 中国・長江日報高級記者一行来訪
- 1月20日 王辰中日友好病院院長一行懇親会
- 2月18日 王秀雲中日友好協会副会長一行来訪
- 3月15日 日中友好人士訪日団、丹羽宇一郎会長を表敬

(4) 在日中国機関との交流

- 4月1日 北京語言大学東京校開学入学式
- 5月13日 韓志強公使離任の挨拶
- 5月29日 韓志強中国大使館公使・劉少賓新中国大使館公使歓送迎レセプション
- 6月9日 岡崎温理事長、汪婉中国大使館友好交流部参事官と懇談
- 6月28日 全日本陝西経済文化交流協会・日本陝西蓮誼会設立大会
- 7月15日 程永華中国大使、丹羽宇一郎会長就任を祝い会開催
- 8月7日 中国人民抗日戦争70周年および世界反ファシズム戦争勝利70周年記念座会
- 8月19日 橋本逸男副会長、石永菁東京中国文化センター長と懇談
- 8月31日 中国人民抗日戦争70周年並びに世界反ファシズム戦争勝利70周年記念レセプション
- 9月15日 錦秋交流の夕べ
- 9月16日 交通銀行東京支店開設20周年記念式典
- 9月25日 新潟総領事館、中華人民共和国建国66周年祝賀レセプション
- 9月29日 中国大使館、中華人民共和国建国66周年祝賀レセプション
- 11月25日 人民日報海外版日本語月刊創刊4周年記念「日中企業経営者交流会2015」
- 1月9日 (一社)東京華僑総会2016新年聯歓会
- 1月12日 丹羽宇一郎会長、程永華大使と懇談

- 1月29日 2016年チャイナ・フェスティバル開幕式
- 1月29日 2016年中国大使館・日中友好団体新年会・チャイナ・フェスティバル前夜祭
- 2月13日 新潟春節祭オープニングセレモニー
- 3月8日 国際婦人デー記念パーティー
- 3月28日 日本寧波商会設立式典&第一次総会
- 3月29日 香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部首席代表離任挨拶レセプション

(5) その他

- 4月13日 海派東漸・海派金石書画十人展開幕式
- 4月28日 水墨本色—中国中青年芸術家日本東京聯展開幕式
- 5月28日 中国漫画展オープニングセレモニー&オープニングイベント
- 6月5日 中日友好河合音楽会
- 6月9日 大美不言・河北省現代美術作品展開幕式・交流会
- 6月29日 山庄神韻・紫塞風情—承德文化展開幕式
- 9月14日 文化山東・在日華僑華人書画家訪魯采風報告展開幕式
- 9月22日 自然之道—日中友好絵画招聘展オープニングセレモニー
- 9月24日 中国無形文化財・河北省唐山皮影芸術展開幕式
- 10月25日 「孫中山、宋慶齡と日本」パネル展オープニングセレモニー及びパーティー
- 11月2日 海派書画名家後裔来日交流展開幕式
- 11月20日 周恩来総理を偲ぶ回顧展開幕式
- 11月25日 余熙 中国・長江日報高級記者「日中友好の歴史」講演会
- 11月30日 新疆印象開幕式
- 2月2日 世界無形文化遺産・中国昆曲展開幕式
- 2月23日 福猿迎春—徐培晨書画作品展開幕式
- 3月28日 道在五常・上海書画篆刻家王運天、徐谷甫、郭豫之三人展開幕式

## 8. 留学生派遣事業

### (1) 2015年公費留学

中国教育部及び中国大使館教育部の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、20名（長期のみ）を中国各地の大学に派遣した。

- 4月16日 中国大使館教育部に公費留学申請書提出。
- 7月30日 中国大使館教育部より留学受入の決定通知受け取る。
- 8月10日 中国留学研修会を開催。
- 8月21日 中国大使館教育部は「2015年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催。
- 8月下旬から9月上旬にかけて各自留学した。

### (2) 2016年公費留学を希望する応募受付と選考を行った。

- 1月5日～2月5日 応募受付をした。
- 応募者数は31名。書類選考をした。
- 3月13日 公費留学生選考面接試験を実施し、20名を内定した。

## 9. 中国語普及事業

### (1) 第33回全日本中国語スピーチコンテスト

1月10日、第33回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会を開催した。

全国大会には、高校生部門4名、一般部門6名、大学生部門10名が出場した。優勝者は、高校生部門・神谷菜々子さん（愛知県）、一般部門・加藤敬子さん（東京都）、大学生部門・小田真璃奈さん（大阪府）が獲得した。なお、都道府県大会は、20箇所で開催104名が出場。該当県協会は高校生部門7名、一般部門11名、大学生部門10名をエントリーした。11月29日にテープ審査を行い、全国大会出場者を選考した。

朗読部門には、中学生・高校生部門12名、大学生・大学院生部門9名、一般部門8名がエントリーした。テープ審査の結果、中学生・高校生部門3名、大学生・大学院生部門3名、一般部門3名が入賞し、当日の発表会で日頃の成果を披露した。都道府県大会には、スピーチと朗読合わせて399名が出場した。

(2) 第42回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国4会場で開催した。

#### 10. 丹羽宇一郎奨学金

(1) 2015年度は、6名の在日中国人留学生に奨学金の支給を行った。

(2) 2016年度に奨学金の支給を希望する在日中国人留学生の募集と選考を行った。

1月5日～12日 応募受付をした。

応募者数は91名。書類審査を選考した。

3月12日 面接試験を実施し、3名を内定した。

#### 11. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 日中友好7団体提携

1月29日、2016年中国大使館・日中友好団体新年会・チャイナ・フェスティバル前夜祭を開催した。

(2) 後援・協力は公演・展覧会等74件

#### 12. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

毎年12月に行っている組織基本調査によると、ホームページを開設している県協会は25県協会（前年比増減なし）メールアドレスを持っている県協会は30県協会（前年比1減）であった。一定の事柄については、メールでの連絡を行っている。

(2) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は毎月1日付け、12回発行。

② 「友好手帳」2016年版は9月に発行。

③ 平山郁夫作品カレンダー2016は11月～12月に発売。

④ 1月20日、2016年日中友好新年会（(NPO) 東京都日中友好協会と共催）を開催。

以上